

OSS開発 - 機能 #7

activetokyocabinet で TRUNCATE TABLE に対応する

2011/03/02 11:30 - MURAOKA Daisuke

ステータス:	終了	開始日:	2011/03/02
優先度:	通常	期日:	
担当者:	MURAOKA Daisuke	進捗率:	100%
カテゴリ:		予定工数:	0.00時間
対象バージョン:		作業時間:	0.00時間
説明 activetokyocabinet で TRUNCATE TABLE に対応させる。 実装方針は以下のような感じで。 - ActiveRecord::AbstractTokyoCabinetAdapter#truncate として TokyoTyrant::RDB#vanish を呼ぶメソッドを追加 <pre>tdbopen(parsed_sql([:table]) do tdb tdb.vanish end)</pre> - ActiveRecord::Base#truncate に connection.truncate(self.table_name) で呼び出せるように追加			

履歴

#1 - 2011/03/03 18:31 - MURAOKA Daisuke

もともとの ActiveRecord に truncate メソッドはなく、機能追加になってしまうので別ブランチで扱ったほうがよさそう。

#2 - 2011/03/10 17:40 - MURAOKA Daisuke

- ステータスを新規から進行中に変更

- 進捗率を0から40に変更

そもそも ActiveTokyoCabinet のコネクションアダプタは execute を実装しておらず、SQL で解釈する意味が無いので setindex と同様な実装にする。

#3 - 2011/03/11 12:53 - MURAOKA Daisuke

- ステータスを進行中から解決に変更

- 進捗率を40から80に変更

素直に ActiveRecord::Base.vanish として実行できるように実装した。

<https://bitbucket.org/muraoka17/activetokyocabinet/changeset/c6ecded4fec5>

#4 - 2011/03/11 12:54 - MURAOKA Daisuke

- ステータスを解決から終了に変更

- 進捗率を80から100に変更